

令和2年度自己評価結果公表シート

大開幼稚園

1.本園の教育目標

- ☆ 健康で安全な暮らしのできる子ども
- ☆ 自分のことは自分でできる子ども
- ☆ 友達と仲良くできる子ども
- ☆ 自分から進んで取り組み、工夫しながら遊べる子ども
- ☆ 心情豊かな子ども

2.本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

- ・感染症予防のため、子どもたちの健康で安全な生活を守る環境を整える。
- ・健康で安全な生活習慣を身につけるよう、指導方法を工夫し、家庭との連携をはかる。

3.評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	達成及び取り組み状況
(1) 感染症予防のための環境を整えることができたか。	<ul style="list-style-type: none">・空気清浄機、LED クレベリンの導入、1階保育室のエアコンをナノイーに取り換え、1回保育室のパーテーションを常時あけることで換気をよくするなどの環境整備を行った。・設定保育時や食事の際は、密にならないよう、机の配置や、対面にならないように座り方を配慮した。・鍵盤ハーモニカをキーボードに変更した。・みどり組があか組のお世話をする時には、手指消毒をし、マスクを着用した。・週末や連休の際の緊急連絡用に転送電話を導入した。
(2) 健康で安全な生活習慣を身につけることができたか。	<ul style="list-style-type: none">・登降園時、手洗い後、食事の前、集会など全園児が集まる前後に必ず手指消毒を行ったことで、手指消毒の習慣が身についた。・生活の中で、互いに間を開けたり、斜めに座ったりすることを指導したことで、ソーシャルディスタンスが身に付いてきた。
(3) 家庭と連携して、生活習慣を見直すことができたか。	<ul style="list-style-type: none">・4、5月の休園期間も毎週各家庭に電話をして、園児や家族の健康確認をしたことで、感染予防対策も続けることができた。・各クラスの支援に必要な保護者に必要に応じて面談をしたり、個別の生活習慣表を利用したりすることで、生活習慣の見直しができた。・アレルギーの子どもに対する配慮を教職員で共通理解し、支援した。

4.学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結 果	<ul style="list-style-type: none">・園児、園児の家族、教職員に新型コロナウイルス感染症やインフルエンザなどその他の感染症に罹患せず、1年を終えることができた。・子どもの生活習慣を徹底することで、自ら、習慣として身についた。・幼稚園側の配慮不足により、保護者との信頼関係が築くことができなかった家庭があった。
-----	--

5.今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
保護者対応	・丁寧な保護者対応を心がけ、子どもたちの成長の支援をする。
教職員間の連携	・来年度、教職員のメンバーが変わるので、より連携を密にして、幼児理解に努める。

6. 学校関係者の評価

新型コロナウイルス感染症対策として、空気清浄機・LED クレベリンの導入や、保育室のエアコンをナノイー搭載のものに変えるなどの環境の整備と検温・手指消毒の徹底や生活の中でソーシャルディスタンスの習慣を身に付けるよう指導を重ねながら、プール遊びや運動会・生活発表会などの行事も、保護者の方にも協力していただきながら、子どもたちの成長に必要な経験を重ねられるように工夫したことを評価していただいた。

7. 財務状況

公認会計士による監査にて、適正に運営されていると認められている。